

政治とメディア I

科目ナンバリング POL-109
選択必修 2単位

天日 隆彦

1. 授業の概要(ねらい)

健全な民主政治を実現するために、メディアはどのような役割を果たしているのか。報道の仕組みを踏まえた上で、メディアと政治の関係を様々な角度から考察する。

2. 授業の到達目標

- ①新聞、テレビ、ネットなどのメディアの特性を踏まえ、今日における政治とメディアの関係について説明できる。
- ②同じテーマを扱った報道でも、報道機関によって取り上げ方が違うことを理解し、比較しながら説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

LMSによる最終テスト(60%)と平常点(40%、課題提出など)により総合的に判断する。

4. 教科書・参考文献

教科書

芹川洋一、佐々木毅 『政治を動かすメディア』 東京大学出版会

5. 準備学修の内容

授業のポイントが理解出来るよう宿題(主として選択・穴埋め式設問)を出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語など、他の受講生の迷惑になる行為は厳禁する。日頃から、新聞によく目を通しておくことが望まれる。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業方法、成績評価について説明、政治とメディアの関係の総論
- 【第2回】 新聞報道の現代政治への影響について学ぶ
- 【第3回】 雑誌報道の現代政治への影響について学ぶ
- 【第4回】 新聞社説の読み比べ
- 【第5回】 テレビの現代政治への影響について学ぶ
- 【第6回】 インターネットの現代政治への影響について学ぶ
- 【第7回】 第6回までの授業のまとめ、提出物のフィードバック
- 【第8回】 ナショナリズムの培養装置としてのメディアについて学ぶ
- 【第9回】 ポピュリズムを呼び起こす道具としてのメディアについて学ぶ
- 【第10回】 新聞リベラリズムの系譜について、明治大正期を中心に学ぶ
- 【第11回】 新聞リベラリズムの系譜について、昭和初期を中心に学ぶ
- 【第12回】 メディア・リテラシーについて学ぶ
- 【第13回】 まとめと最終テスト(オンライン)
- 【第14回】 テストの解説
- 【第15回】 全体のまとめ